

事務事業名 筑紫野市身体障害者福祉協会補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：224

施策：	11	障がい者福祉の充実	財務コード	01030104-03-00
基本事業：	03	社会参加の促進と就労支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	自立支援給付（訓練等給付）の利用者数 音声・言語、聴覚障がい者の手話通訳派遣回数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市身体障害者福祉協会			市の障がい者福祉活動の中心的役割を担う筑紫野市身体障害者福祉協会の活動に対して補助を行うもの。 【補助金交付の流れ】 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【筑紫野市身体障害者福祉協会の活動】							
筑紫野市身体障害者福祉協会の活動が充実・活性化し、障がい者の相互交流や社会参加をはじめとした障がい者福祉施策全般の推進が図られている。			<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動「お気楽会」（毎月第2水曜実施） ・軽スポーツ教室、ボウリング教室 ・グラウンドゴルフ大会、自動車安全運転競技大会 ・福岡県障害者文化祭 ・定例会議、交流会 等 							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
筑紫野市身体障害者福祉協会会員数		人	141	130	230	230			250	
各種事業参加者合計数		人	402	221	700	700			700	
5. コスト										
事業費		計	千円	600	600	600	600			
		国	千円		0	0	0			
		県	千円		0	0	0			
		地方債	千円		0	0	0			
		その他	千円		0	0	0			
一般	千円	600	600	600	600					
正職員人工数		人工	0.02	0.03	0.02					
正職員人件費		千円	161	241	158					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	761	841	758	600				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に各種スポーツ大会やイベントに参加し、会員同士や健常者との交流が行われている。 ・身体障害者手帳を取得する人は増加しているが、新規会員の増加に結びついていない。 ・新規加入者が少ないため、入院や高齢化による退会者が上回り、会員が減少傾向にある。 ・平成30年度よりチラシを市役所、コミセン等に設置して周知をしている。 ・令和2年度はコロナウィルスの関係でイベントが中止となったものもあり、事業参加者数は少ない。 								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	・会員の年会費が500円と低額である。過去に値上げを検討したが、会員からの反対意見が多く、実現ができていない。 ・新規会員を増やすために募集チラシを作成するなど、会員増に向けた取り組みを行っているが、成果がでていない。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
平成30年度総会で会長が交代し、組織活性化のため、イベント等への参加の呼びかけ、新規加入の呼びかけを行っているが成果がでていない。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」を基本理念とし、障がい者福祉の増進を図るため、筑紫野市身体障害者福祉協会に運営の補助をすることとした。										